

## ニカラグア定期報告（2021年10月）

### 【要旨】

内政・外交面では、大統領選挙が翌月に迫る中、21日、マイケル・ヒーリー民間企業最高審議会(COSEP)代表及びアルバロ・ハビエル・バルガス副代表がニカラグア国家警察に逮捕・拘留され、その後、セサル・サモラ・エネルギー会議所(GEN)会頭が臨時代表として、スコット・バウゲン繊維産業協会(Anitec)代表が臨時副代表として就任した。20日、米州機構(OAS)常設理事会において、ニカラグア大統領選挙プロセスに関する決議が採択された。経済面では、ニカラグアの2021年経済成長率について世界銀行は5.5%、IMFは5%と予測した。

### 【主な出来事】

#### 1 内政・外交

##### (1) 3種類のキューバ製新型コロナウイルスワクチンの緊急承認

2日、ムリージョ副大統領は、3種類のキューバ製新型コロナウイルスワクチン(アブダラ、ソベラナ、ソベラナ02)の緊急使用を承認したと発表した。これらのワクチンは、希望する幼児・青少年(2~17歳:対象者210万2千366人)に対して使用される。

##### (2) オルテガ大統領の対米抗戦のセレドン将軍記念式典出席

4日、オルテガ大統領は、対米抗戦のセレドン将軍記念式典に出席し、国民向けスピーチを行った。

##### (3) 青と白の国民連合(UNAB)を中心とした反政府系グループの動き

ア 7日、UNABは、「ニカラグアの民主的な反対派(Oposicion Democratica Nicaraguense)による声明」という名のプレスリリースを発表し、そのなかでオルテガ政権の非民主的な対応を述べた上で、国際社会に対して大統領選挙の違法性を認識し、選挙結果を認めず、オルテガ政権に圧力を行うよう求めた。同プレスリリースに署名した政治グループは、UNAB、民主主義のための拡大戦線(FDN)、農民連合(MC)など9グループ。

イ 11日、ネット番組に出演したUNABメンバーであるヘスス・ヘスス・テフェル氏は、「ニカラグアの民主的な反対派」を構成するUNABを含めた9グループが、大統領選挙をボイコットし、自宅待機するよう国民へ求めることで合意したと発表した。

##### (4) 新型コロナウイルスワクチン確保情報

ア 9月30日、COVAXファシリティを通じてシノファーム製ワクチン13万8千回分が到着した。

イ 12日、ホンジュラスから、10万回分のファイザー製ワクチンを借り受けた。その後、30日、借り受けた10万回分のワクチンは返却した。

ウ 15日、ロシア政府から購入した、19万2千回分のロシア製ワクチン・スプートニク・ライトが到着した。同じく24日には144万回分、26日には89万6千回分のワクチンが到着した。

エ 15日、トリニダード・トバコによる供与として、3万8千回分のアストラゼネカ製ワクチンが到着した。

オ 19日、パナマから汎米保健機構（PAHO）を通じて、24万3千880回分のアストラゼネカ製ワクチンが到着した。

カ 20日、キューバ製新型コロナウイルスワクチンである「アブダラ」及び「ソベラノ02」120万回分が到着した。

キ 25日、COVAX ファシリティを通じたスペインからの支援として、62万5920回分のアストラゼネカ製ワクチンが到着した。

ク 28日、COVAX ファシリティを通じた米国からの支援として、30万5千307回分のファイザー製ワクチンが到着した。

#### （5）台湾による病院・保健所の建設・修繕支援

7日、ハイメ・ウー当地台湾「大使」は、エンリケ・ベテタ保健副大臣に、病院・保健所の建設・修繕費支援として70万米ドルを供与した。

#### （6）モンカダ外相の外遊

ア 13～14日、モンカダ外相は、トルコを公式訪問し、メヴリュット・カヴソグル外務大臣、ベキル・パクデミリ農林大臣らと会談した。

イ 18日、モンカダ外相は、ベラルーシを公式訪問し、ウラジミール・マケイ外務大臣、イゴール・カルペンコ教育大臣らと会談した。

ウ 21～22日、モンカダ外相は、アラブ首長国連邦（UAE）を公式訪問し、Altera el Jeque Abdalla Bin Zayed Al Nahayan 外務大臣、Reem Ebrahim Al-Hashimi 国際協力大臣、Adbullah Sultan Al Owais 商工会議所代表らと会談した。

エ 29日、モンカダ外相は、ケニアを公式訪問し、レイチェル・オマモ・ケニア外相と会談した。

(7) ロシア製ワクチン CoviVac のニカラグアでの製造予定

20日、マナグアで開催された第6回ニカラグア・ロシア国際会議にて、ラウレアノ・投資・通商・国際協力問題担当大統領顧問は、今後ニカラグアで、ロシア製新型コロナウイルスワクチン (CoviVac) を製造し、来年には国民に提供できる見込みであると発表した。

(8) 新型コロナウイルスワクチン希望接種者の18歳引き下げ

21日、ムリージョ副大統領は、25日以降新型コロナウイルスワクチンの希望接種対象者を18歳以上にする と発表した (以前は30歳以上)。使用されるワクチンはロシア製ワクチン・スプートニク・ライト。

(9) 民間企業最高審議会 (COSEP) を巡る動き

ア 21日、ニカラグア国家警察は、マイケル・ヒーリー民間企業最高審議会 (COSEP) 代表及びアルバロ・ハビエル・バルガス副代表を逮捕・拘留したと発表した。

イ 24日、COSEP は、Twitter 上でプレスリリースを 発出し、第2副代表であるセサル・サモラ・エネルギー会議所 (CEN) 会頭が臨時代表として、第3副代表であるスコット・バウグン繊維産業協会 (Anitec) 代表が臨時副代表として、それぞれ就任すると発表した。

(10) ワクチン接種を目的としたホンジュラスへ渡航する当国民の増加

21~22日の2日間で、7,139名のニカラグア人がホンジュラスに渡航し、国境付近に位置する2カ所の接種会場 (「EL Guasaule」「El Espino」) で、新型コロナウイルスワクチンを接種したことが分かった。

(11) 1,000名の囚人の釈放

22日、ニカラグア内務省は、罪を犯し刑務所に服役している人々らが家族と過ごすための法的便宜に基づき、囚人1,000名を釈放したと発表した。

(12) ホンジュラスとのフォンセカ湾国境画定に係る条約の署名

27日、オルテガ大統領及びムリージョ副大統領は、アビレス国軍司令官他国軍幹部同席の下、ニカラグアを来訪したエルナンデス・ホンジュラス大統領率と会合を開き、「カリブ海とフォンセカ湾外水域における両国間国境条約」に署名した。

(13) 国際選挙同行団参加者の認定

28日、ムリージョ副大統領は、定例会見にて、最高選挙管理委員会（CSE）が、11月7日に実施されるニカラグア大統領等選挙の国際選挙同行参加者（acompanantes electorales）として、ラ米・ヨーロッパ、ユーラシア地域から170名を認定したと発表した。

(14) 30日付市民監視団体の新型コロナウイルスに関する発表概要

ア 10月21～27日の期間に全国で54件の感染及び感染疑いが報告され、累計31,090名となった。

イ 上記の期間に新型コロナウイルスの感染疑いで死亡した人は24名報告された。累計死者数は5,911名となった。

ウ これまで累計1,387名の医療従事者のCOVID-19感染疑いが報告され、また累計232名の死亡が報告された。

(15) 11月2日付保健省（MINSA）の新型コロナウイルスに関する週間レポート

ア 10月26日から11月2日までの間に、保健省は277名のCOVID-19陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また301名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計13,047名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ COVID-19感染者及びフォローアップ対象者の大多数は、様々な持病を抱えている。最も多いのは糖尿病、肥満、高血圧、心疾患、免疫不全、慢性腎不全、脳卒中の既往歴、肺結核及び慢性肺疾患である。

エ この1週間の間に、COVID-19に起因する1名の死亡が確認された。（累計死者数209名）また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

オ 本日までに、12,561名のニカラグア人が回復した。

## 2 ニカラグアに関する海外情勢

### (1) 米上院議員15名による対ニカラグア制裁強化を求める文書

1日、ボブ・メネンデス米上院外交委員長（民主党）を含む超党派の米国上院議員15名が、オルテガ大統領、ニカラグア国軍、国軍年金機構（IPSM）にも制裁を拡大するように求める文書をアントニー・ブリンケン米務長官に対し提出した。

### (2) EUによるオルテガ政権要人14名に対する制裁の1年延長

11日、EU理事会は、これまで制裁対象としていたムリージョ副大統領を含むオルテガ政権要人14名に対する制裁を、1年延長して2022年10月15日まで対象とすると発表した。

### (3) OAS常設理事会におけるニカラグア決議の採択

20日、米州機構（OAS）常設理事会において、ニカラグア大統領選挙プロセスに関する決議が26票の賛成多数（欠席1、棄権7）で採択された。

## 3 経済

### (1) 米New Fortress Energy社による国内最大天然ガスプラント建設状況

5日、New Fortress Energy社のWinne Irizarryプロジェクト責任者は、プエルト・サンディーノ市で取り組む、中米で初めてとなる天然ガスプラントは、8割以上建設を終了しており、今年10月末から稼働を行う予定であると発表した。

### (2) 世界銀行による2021年経済成長率予測

6日、世界銀行は、「ラテンアメリカ・カリブ地域における経済の現状～成長の回復：予算制約の中でのポストCovid-19ダイナミック経済の再構築」レポートを発表し、そのなかでニカラグアの2021年経済成長率を5.5%と予測した。

### (3) IMFによる2021年経済成長率予測

IMFは、世界経済見通し（World Economic Outlook）レポートを発表し、そのなかでニカラグアの2021年経済成長率を5%と予測した。

<主要経済指標>

	2019年	2020年	2021年		
			8月	9月	10月
インフレ率（対前年同月）	6.1%	2.9%	2.84%	3.49%	未発表
貿易収支（百万ドル）	▲1,655.6	▲1,559.9	▲281.7	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,696.8	2,852.0	277.2	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	4,352.4	4,411.9	558.9	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,682.4	1,851.4	174.8	未発表	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,397.4	3,211.9	4,052.7	4,058.2	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）